

アル・アクサ洪水第738日：イスラエル軍の撤退後、数十万人の避難民がガザ市へ帰還した。

Palestine Chronicle, 2025年10月12日、脇浜義明訳



イスラエル軍の撤退後、数十万人の避難民がガザ市へ帰還した。(Photo: via QNN)

主要事項

*イスラエルの侵攻による大破壊の中を、エジプトのシャルム・エル・シェイフ交渉で合意された停戦協定が発効してから、50万人のパレスチナ人がガザ市とガザ回廊北部へと帰還していると、ガザ市民防衛団が発表した。

*イスラエルは、停戦合意第一段階の捕虜交換で釈放するパレスチナ人囚人リストから、マルワン・バルグーチやアフメド・サアダトなどの重要人物を除外したと伝えられる。

*ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日以降、イスラエルの攻撃による犠牲者数は、死者67,211人、負傷者169,961人となった。その多くは女性と子どもである。

最新情報

10月12日 11:03 pm

*パレスチナ・クロニクル：地元情報によれば、ガザ回廊の破壊を報道してきたことでよく知られ、停戦を喜んでいたパレスチナ人ジャーナリストのサレハ・アルジャファラウィが、イスラエルから資金と武器をもらってイスラエルに協力している武装民兵に、ガザ市で射殺された。

10月12日 10:33 pm

*アル・ジャジーラ：ガザの治安部隊はガザ市のイスラエル協力者の武装民兵を徹底的な掃討作戦で完全制圧した。関係筋によると、民兵約60人が逮捕され、背景捜査のためにイスラエル軍から介入されない安全な場所に移されたという。戦闘の中でイスラエル占領軍と協力し避難民を殺害した民兵数人が死亡した。

*アル・ジャジーラ：交渉団の一員のハマス幹部がジ・ハマドはアル・ジャジーラに対し、抵抗勢力は人質引き渡しに関して必要な準備をすべて完了したと語った。彼は、イスラエルがパレスチナ人捕虜の「リストを操作し、約束履行を遅らせている」と非難した。

10月12日 10:27 pm

*イラン大統領府：今日、マスード・ペゼシュキアン大統領が明日のシャルム・エル・シェイフ国際和平サミットへのエジプトからの公式招待を辞退した。

*アクシオス：パレスチナ自市政府 (PA) のマフムード・アッバース大統領がシャルム・エル・シェイフ会議に出席する。

*パレスチナ・メディア：地元筋によると、パレスチナ人活動家のサレハ・アル・ジャフラウィーが、今日の午後、ガザ市でイスラエル協力者「武装民兵」によって殺害された。それに先立ち、ガザ内務省がアル・ジャジーラに言ったところによると、「イスラエル占領軍と関係がある武装民兵」がガザ回廊南部からガザ市へ帰還する避難民を殺害した。

*ネタニヤフ：ネタニヤフ首相は、イスラエルは大きな勝利を達成したけれど、戦争はまだ終わってなく、重大な安全保障上の課題が残っていると語った。

10月12日 8:07 pm

*パレスチナ・クロニクル：過去数か月間にわたり、イスラエルの支援でイスラエル協力者武装グループが形成され、窃盗や略奪を行い、イスラエル占領軍に加担して抵抗勢力を攻撃した。

10月12日 7:54 pm

*ガザ内務省：ガザ内務省高官はアル・ジャジーラに対し、「占領軍と関係する武装民兵」との戦闘で数人の死傷者が出たと言った。情報筋によると、民兵集団は南部からガザ市へ戻っていく避難民に銃撃した。ガザ治安部隊はガザ市で民兵を包囲して、逮捕しようとしている。内務省は、秩序回復と、避難民殺害の責任者を追求すると表明した。

*エジプト外相：バドル・アブデラティ外相は、国連安保理を通じた国際部隊のガザ派遣案の支持を国際社会に呼び掛けた。国際部隊の使命は民間人保護と地域の安全と安定を促進することである。彼は、トランプ大統領の和平計画の第一段階の実施にエジプトが全幅の信頼を寄せていると表明し、関係者すべてがそれを支持することを期待すると述べた。

10月12日 7:07 pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルとハマスは明日の朝の捕虜交換第一段階を行う準備を進めている。

*パレスチナ・メディア：イスラエル占領当局は、調理用ガスを積んだトラック数台のガザ回廊への入域を許可した。今後、シャルム・エル・シェイフ合意に基づき、燃料・ガスを積んだトラックと人道支援物資トラックの入域も許可される見込みである。

10月12日 6:23 pm

*パレスチナ・クロニクル：ガザにおけるパレスチナの勝利を語るならば、それはパレスチナ人民、彼らの不屈の精神、そして派閥やイデオロギー、政治を超越した深く根ざした抵抗運動にとって、圧倒的な勝利である。

*ロイター通信：J.D.ヴァンス米副大統領は、人質の遺体は、最終的には大半回収されるだろうが、行方不明者もかなり出てくる可能性を指摘した。「ガザで死亡した人質の大半は見つかるだろうが、全員の回収は困難だろう」と言った。

*イエディオト・アハロト：イスラエル刑務所局が、明日予定されている捕虜交換に備えて、警戒レベルを最高に引き上げた。

*アル・ジャジーラ：ハマス幹部はアル・ジャジーラに対し、パレスチナ抵抗勢力は人質引き渡しの準備として、ガザ回廊のいくつかの場所にいる生存人質の数を数え、再配置する作業を完了したと語った。情報によると、ハマスと赤十字代表団は今夜会合を開いて、移送方法などを決める予定で、移送は3つのルートを使って行われる予定である。さらに幹部は、釈放されるパレスチナ人囚人リストの改善に向けて、ハマスが仲介者と集中的協議をしたと述べた。イスラエルが著名な囚

人の釈放を拒否しているが、ハマスの要望を受けて仲介者はイスラエルと折衝していると、幹部が言った。幹部は、ハマスは合意されたスケジュールに従って人質を釈放すると改めて表明した。

*チャンネル12：明日ガザで解放される予定のイスラエル人質を受け取る準備として、赤十字のバスがイスラエル南部への移動を開始した。

*パレスチナ捕虜メディア・オフィス：複雑な障害によって、女性や子どもを含む釈放囚人リストの公式発表が妨げられている。我々は、このような課題を克服して必要な手続きを完了するために、昼夜を問わず努力している。最終リストが承認され次第、氏名と交換の実施詳細が公表されるだろう。

*チャンネル12：死亡した人質の家族に、交換協定に第一段階では、遺体の返還はないと通知された。

*ガザ内務省：ガザ内務・安全保障省は、「流血の犯罪を犯していないギャング構成員」には恩赦と悔悟期間を付与して、法的及び治安上の地位を保証すると発表した。内務省は、一部の犯罪グループが戦争の混乱に乗じて、市民の財産への破壊行為や援助物資の窃盗など違法行為を行ったが、中には暴力行為を行わなかった構成員もいると言った。そういう構成員には10月13日から10月19日までの悔悟期間を与え、その間は治安当局への出頭を命じた。この命令に従わない者には厳格な法的措置が取られるとし、公共の安全と市民の権利はいかなる状況でも侵害してはならないと警告した。

*パレスチナ・クロニクル：シドニーからロンドン、ベルリンに至るまで、世界の大都市で大規模なデモが行われ、イスラエルへの制裁、ガザへの早急な人道支援、イスラエルの占領終結を要求した。

10月12日 4:11pm

*イスラエル・メディア：イスラエル政府報道官は、人質の解放は明朝早くに開始され、全員一括で解放されると発表した。彼女は、捕虜交換の準備として、イスラエル軍が「イエローライン」にまで撤退したと言った。そして、人質が返還され次第、パレスチナ人囚人の釈放が行われると付言した。彼女はさらに、生存人質の解放後、死亡人質の遺体を受け取る用意があると言った。

*アル・ジャジーラ：ナセル総合病院の小児科長のアハマド・アル・ファラ医師はアル・ジャジーラに対し、ガザ回廊の保健条件の継続的悪化と医療能力の欠如のため、5,500人の子どもが外国での治療が必要だと述べた。

*ガザ保健省：この24時間で、ガザ回廊各地の瓦礫の中から117人の遺体が掘り起こされた。これで、2023年10月7日以降の犠牲者数は、死者67,806人、負傷者170,066人となった。

*パレスチナ NGO ネットワーク：NGO ネットワーク代表はアル・ジャジーラに対し、150万人のガザ住民が住む家を失ったと言った。彼はガザの救助活動には、ブルドーザー数台、テント30万帳、医療システムの回復が至急必要だと言った。また、不発弾が散乱しており、帰還する住民にとって非常に危険だと警告した。

*アル・ジャジーラ：ガザ保健省のムニール・アル・バルシュ局長はアル・ジャジーラに対し、次のように述べた。「占領軍の撤退で、死の連鎖が止まった。約1,700人の医師と医療従事者が殺害され、その中には上級コンサルタントもいる。拘束されているホッサム・アブ・サフィエ医師やマルワン・アル・ハムス医師など同僚医師の即時解放を求める。ガザ市内の保健省倉庫は空っぽで、特に保健部門では清潔な水の供給と下水道の復旧が急がれる。国際社会に医薬品の急速な供給を求める。」

*アル・ジャジーラ：世界食糧計画のアビール・アティファ報道官はアル・ジャジーラに対し、「約30軒のパン屋がまもなく開業する見込み。また、人道支援物資の搬入も拡大する見込み。ガザ回廊、特に北部の大破壊の復興には数か月かかるだろう」と言った。

*タスニム通信社:関係筋によると、イランは正式招待を受けたが、シャルム・エル・シェイフ会議には参加しない。

*アル・ジャジーラ：国境なき医師団のガザのメディア調整官のヌール・アッサーカはアル・ジャジーラに対し、ガザ回廊で負傷した17万人以上のパレスチナ人には緊急治療が必要だと語った。

*ウォールストリート・ジャーナル：イスラエル高官の発言によると、軍が今晚夜に人質受け入れの準備を進め、翌日朝の引き渡しに備えているという。

*UNRWA：これまで約170台の救援トラックがガザに入ったが、UNRWAのトラックにはまだ通行許可が出ない。UNRWAは、ガザ回廊全域で救援物資の組織的配分を担う主体であることを強調した。「我々は、ガザで数時間以内に配給センター、数千人の職員が稼働できる唯一の組織である。しかし、イスラエルは、今もなおケレム・シャローム・クロッシ

ングを通過する救援物資を制御し制限している。現在、UNRWA のトラック 6, 0 0 0 台がガザへの入域を待っている」と UNRWA は語っている。

1 0 月 1 2 日 1 2 : 2 0 p m

*パレスチナ・クロニクル：シドニーからロンドン、ベルリンに至るまで、世界の大都市で大規模なデモが行われ、イスラエルへの制裁、ガザへの早急な人道支援、イスラエルの占領終結を要求した。

1 0 月 1 2 日 1 1 : 4 8 a m

*ニュースのまとめ

・医療物資の深刻な不足；ガザ医療救済協会の理事長はガザ市内のすべての医療機関が深刻な医療物資不足に直面していると言ったと、アル・ジャジーラが報道している。理事長は、専門医と医療危機の危機的な不足のため、病院スタッフは患者を選択せざるを得なくなっているとも言った。ガザ保健省は、人道状況と保健状況は緊急的対応を要する事態で、基本的医療物資の至急搬入が必要だと言った。専門医サービスや診断サービスが止まっているために、医療状況が悪化し、複雑な手術が出来ないので、数千人の病気患者と負傷患者が適切な治療を受けられる場所が必要だ。保健省は、ガザ回廊でまだかろうじて稼働している病院への支援が最優先で、それを先延ばしできないと強調した。

・入植者のアル・アクサ・モスク乱入；大勢の入植者が、イスラエル警察の保護を受けて、アル・アクサ・モスクの中庭に押し入った。また、彼らは、ユダヤ教の祭日「仮庵の祭り」を記念するとして、アル・アクサ・モスクに隣接するハブ・アッラーマ墓地にも押し入ったと報じられている。

・西岸地区襲撃；パレスチナ囚人情報局によれば、イスラエル占領軍が、今朝、西岸地区の各市で大規模な襲撃と逮捕を行った。占領軍は、この作戦を、「捕虜交換合意の枠組みに基づく扇動行為防止」のためと説明し、8人を容疑者として逮捕した。

・ネタニヤフ、重要目的達成できず；イエディオト・アハロノトは、政府高官が「首相はガザ停戦合意を戦争の成果として自慢しているが、戦争の中核目的であったハマスの降伏と武装解除は達成されていない」と述べたと報じた。

1 0 月 1 2 日 1 0 : 4 6 a m

*パレスチナ・クロニクル：最終和平サミットの数日前に、カタール政府の仲介チームのメンバーの政府高官3人が、シャルム・エル・シェイフ近くで自動車事故に遭って死亡した。

1 0 月 1 2 日 1 0 : 4 4 a m

*パレスチナ・クロニクル：ハマスの幹部は、米国提案のガザ停戦合意の第二段階の重要争点である武装解除に関し、断固それを拒否するという声明を出した。

*パレスチナ・クロニクル：明日、米国を含む20カ国がシャルム・エル・シェイフに集まり、ガザ停戦合意の承認と強化を図る。

1 0 月 1 2 日 1 0 : 3 9 a m

*パレスチナ・クロニクル：イスラエル国営放送局（カン）は、人質が明日の月曜日に解放されると報道し、軍の特殊部隊がガザで警戒態勢を敷いたと発表した。

1 0 月 1 2 日 1 0 : 3 3 a m

*イスラエル国防相：私は軍に、人質返還後にハマスのトンネルを破壊する任務の備えるようにと命令した。トンネル破壊は、ハマスを武装解除し軍事力をなく奪するという合意原則の実施となる。人質解放後に最大の課題はガザのトンネル網すべてを直接破壊することだ。

*パレスチナ・メディア：イスラエル当局は人質家族会に、親族の解放を祝うなという電話警告をした。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、救援トラックがガザ回廊へ入る前の検査として、ケレム・シャローム・クロッシングとニザナ・クロッシングの検問所に入ったと報じた。

1 0 月 1 2 日 8 : 3 0 a m

*パレスチナ・クロニクル：アルジェリアのアブデル・マジド・テブン大統領は、パレスチナ国家の歴史的宣言が行われた1988年のアルジェ会議で、会議を爆破する計画があったことを明らかにした。

1 0 月 1 2 日 8 : 2 8 a m

*ニュースのまとめ

・レバノンへの攻撃；イスラエル軍は、ヒズボラ工作員が南レバノンで軍事施設を再建しようとしていたとして、昨日工作員を排除する作戦を行ったと発表した。

・西岸地区襲撃の継続；今日夜明け、イスラエル占領軍はナブルス、ヘブロン、ジェニン、トゥバなど、複数の地域と町への侵攻を開始した。

10月12日 7:15 am

*ニュースのまとめ

・エジプト、国際サミット主催；エジプト大統領府は、ガザ戦争終結合意を最終的に固めるために、明日の13日、シャルム・エル・シェイフで国際サミットを開催すると発表した。

・出席者；トランプ米大統領を含め世界の20人以上の首脳。

・英国首相の出席；英国首相府は、首相がガザ問題に関するシャルム・エル・シェイフ首脳会議に出席するためにエジプト訪問すると発表。

・スティーヴン・ウィトコフ米特使；「今日私は、中央軍司令官とジャレッド・クシュナーと共にガザを訪問し、合意の第一段階へのイスラエルのコミットを確認した」と述べた。その際、一行は、安全保障、援助、紛争緩和に向けたイスラエルの取り組みについて詳しい説明を受けたと言った。

・囚人虐待ビデオ；イスラエル・メディアであるビデオが拡散されている。それは、捕虜交換協定の一環としての釈放のためにネゲフ刑務所に集めたパレスチナ人囚人を、イスラエル治安部隊員が虐待している映像のビデオである。映像には、パレスチナ人囚人が両手を後ろで縛られ、目隠しをされ、頭を下げた姿勢で、イスラエル兵と警察官に囲まれる中を、一列で歩かされている様子が映っている。

10月12日 12:24 am

*パレスチナ・クロニクル：テルアビブの集会で抗議者たちがネタニヤフを野次る中、米国特使スティーブ・ウィトコフは「不可能だと思われていた」ガザ停戦を称賛。一方トランプ大統領はホワイトハウス記者会見で、ハマス指導部を「タフで賢い」交渉者だと称えた。

10月11日 11:02 pm

*カン：人質が予定より早く月曜日に解放される見込みになったので、イスラエル軍はガザ回廊で特殊部隊に警戒態勢を敷かせた。

*イスラエル・メディア：テルアビブの広場でスティーヴン・ウィトコフ米特使が演説中、ネタニヤフの名前が出ると人々は抗議の言葉を繰り返し唱えた。

*アル・ジャジーラ：ガザのパレスチナNGO代表はアル・ジャジーラに対し、推定150万人のガザ住人が住む家を失ったと語った。彼は、早急な人道支援を求めて国連諸機関と連絡を撮っていると言った。

*イスラエル軍：エヤル・ザミール参謀総長が、スティーヴン・ウィトコフ米特使、ジャレッド・クシュナー顧問、米国中央軍司令官といっしょにガザ回廊を視察した。

*アッシファ病院院長：アッシファ病院の院長はアル・ジャジーラに対し、「ガザ回廊の医療システムは、とりわけ占領軍がガザ市の病院を破壊したために、完全に崩壊している。我々は患者に応急手当をしているだけだ。援助がないと患者は死んでいく。我々は国際機関に苦境を伝えているが、停戦発効以来何の援助も受け取っていない」と語った。

*OCHA（国連人道問題調整事務所）：我々はガザの保健、水、教育システムの復興に取り組む準備を整えている。チームを派遣し、救援トラックはガザ住民の救援に向かって移動している。

*WALLA（イスラエルのニュースサイト）：赤十字チームがイスラエルのオフエル刑務所とシクマ刑務所を訪れ、釈放予定の囚人の健康診断を実施した。

10月11日 6:51 pm

*パレスチナ・クロニクル：ガザ・ジェノサイド戦争が2年間続いた、まるで2世紀間に及ぶような苦痛と破壊の2年間だった。その間私たちは愛する人、家、夢、死に対するショックさえも失った。それほど苦しみにもかかわらず、希望が

私たちの中に生き続けていた。希望は、街が消え去っても消え去らなかった。小さいが、揺るぎない希望だ。[シャイマー・エイドのガザからのレポート](#)を読みたい。

10月11日 6:24 pm

*UNRWA: UNRWAのメディア担当顧問はアル・ジャジーラに対し、「ガザに援助トラックが入るルートをもっと確保することが必要だ。我々はガザで機能している唯一の国連機関である。ガザで重要な役割を行うにはUNRWAに頼る以外に道はない」と言った。

10月11日 12:11 pm

*パレスチナ・クロニクル: イスラエル・メディアは、ガザ停戦の捕虜交換第一段階に関して新たなこと報道した。それは、ハマスの生存人質の全員解放と引き換えに数百人のパレスチナ人囚人を解放するが、マルワン・バルグーチやアフメド・サアダトのような重要人物を除くということだ。